

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	平成 27 年 7 月 7 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府城陽市平川中道表63番地の1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 応用電機株式会社 代表取締役 茶屋 誠一

工 事 の 種 別		<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築		
工事着工予定年月日		27 年 8 月 1 日		
工事完了予定年月日		28 年 3 月 15 日		
特定建築物 の概要	名 称	応用電機(城陽工場F棟)新築工事		
	所 在 地	京都府城陽市平川中道表63-1 その他12筆		
	構 造	鉄 骨 造	階 数	地 上 4 階 地 下 階
	敷 地 面 積	7053.75平方メートル	高 さ	19.89メートル
	建 築 面 積	1343.22 平方メートル	床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積)	4519.36 平方メートル () 平方メートル
	用途別の床面積	住 宅		
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等	1179.93平方メートル	
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
	工 場 等	3339.43平方メートル		
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果		BEE=1.0 B+		

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 ②第11条の2第1号イ該当木材等 ③第11条の2第2号該当木材等 ④第11条の2第3号該当木材等 府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	0.46 立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル 0.46 立方メートル
	使用する用途	男女更衣室床下地 t9	
	府内産木材等の使用基準量	0.09 立方メートル	
	当該建築物における木材の使用量の合計量	0.46 立方メートル	
	木材が使用可能な居室の合計面積	40.40 平方メートル	
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量	
	①太陽光	1029510.86	メガジュール
	②風力		メガジュール
	③水力		メガジュール
	④地熱		メガジュール
	⑤太陽熱		メガジュール
	⑥バイオマス		メガジュール
	⑦その他()		メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	1029510.86	メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概	要
<input type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱			
<input type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽			
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入		LED照明の採用	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用		屋根防水工事に有害物質を含まないプライマーを採用	
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置		節水型便器、節水型水栓の採用	
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用			
<input checked="" type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用		長寿命の床ビニールシート(20年)を採用	
<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮		防汚性の高い建材の採用、掃除用流しの設置	
<input type="checkbox"/> 緑化の実施			
<input type="checkbox"/> その他			

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

- (1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容
- (2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。